

# フローチャート1

## 3剤併用療法(初回)の制度利用に係る取扱い

「HCV-RNA陽性のセログループ1または2型のC型慢性肝炎で、肝がんの合併のないもの」に該当する。

Yes

No

セログループは1型である

Yes

No

ウイルス排除を目的としたインターフェロン製剤単独又はリバビリンとの併用療法を受けたことがある。

ウイルス排除を目的としたインターフェロン製剤単独又はリバビリンとの併用療法を受けたことがある。

Yes

No

Yes

No

高ウイルス量(5.0logIU/ml以上)である。

Yes

No

用いるプロテアーゼ阻害剤はテラプレビルである。

Yes

No

3剤併用療法の制度利用を認める。

3剤併用療法の制度利用を認めない。

## フローチャート2

### 3剤併用療法(再治療)の制度利用に係る取扱い

「HCV-RNA陽性のセログループ1型のC型慢性肝炎で、  
肝がんの合併のないもの」に該当する。

Yes

No

前治療とは別のプロテアーゼ阻害剤を  
用いた再治療が適切と判断される。

Yes

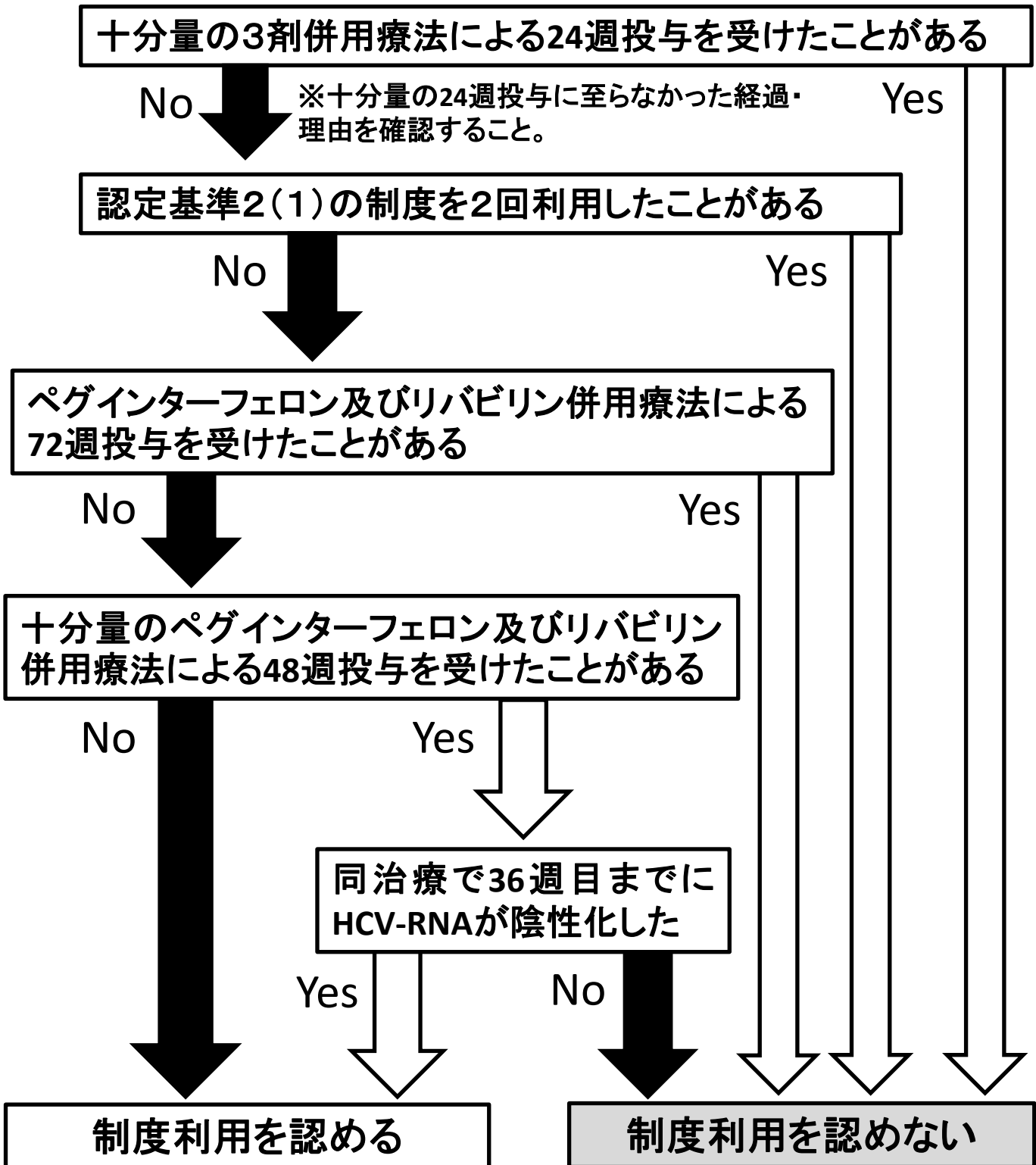
No

3剤併用療法再治療に対  
する制度利用を認める。

3剤併用療法の制度利用を  
認めない。

### フローチャート3

## 3剤併用療法を実施済みの患者（中止例を含む）の 認定基準2（1）の制度利用に係る取扱い



# フローチャート 4

## 認定基準 2 (1) の 2 回目の制度利用 に係る取扱い

「HCV-RNA陽性のC型慢性肝炎及びC型代償性肝硬変で、  
肝がんの合併のないもの」に該当する。

Yes

No

ペグインターフェロン及びリバビリン併用療法による72週  
の投与を受けたことがある。

No

Yes

十分量のペグインターフェロン及びリバビリン  
併用療法による48週投与を受けたことがある。

No

Yes

同治療で36週目までにHCV-RNAが  
陰性化した。

Yes

No

2回目の制度利用を認める。

2回目の制度利用を認めない。

# フローチャート5

## 3剤併用療法の助成期間延長（48週投与）に係る取扱い

セログループ1型のC型慢性肝炎に対するシメプレビルを含む3剤併用療法である

Yes

No

今回の治療を除き、これまでにウイルス排除を目的としたインターフェロン治療を受けたことがある

Yes

No

これまでのインターフェロン治療で治療開始12週後にHCV-RNA量が前値（※）の1/100以下に低下せず、24週未満で治療中止となった

※ 前値：治療開始約半年前～直前までのHCV-RNA定量値。

Yes

No

これまでに24週以上のインターフェロン治療を行ったが、HCV-RNAが一度も陰性化しなかった

Yes

No

助成期間の延長を認める

助成期間の延長を認めない

# フローチャート6

## ペグインターフェロン及びビリバビルン併用療法の助成期間延長（72週投与）に係る取扱い

